今後のホテル・旅館業界の変化と求める人材像

日本工学院専門学校 夏の特別公開講座

日本工学院専門学校（学校法人片柳学園、千葉茂理事長）は6日、東京の西田キャンパスで「夏の特別公開講座」を開いた。高校教諭や約1,800人が参加した。パネルディスカッション「今後のホテル・旅館業界の変化と求める人材像」を実施。2020年4月に設置する情報ビジネス科（ホテルコース）の説明、実習室の見学会などを行った。

主催者あいさつ

学校法人片柳学園　千葉 茂理事長

新しい潮信万全さCMがいいスタートするが、その中でAIやIoTを使ってサイエンティフ5・0の社会が訪れるだろう。その先にはサイエンティフ6・0がくるであろう。そうした変化の中で、教育を行っていく必要がある。

戦後の焼け野原だった日本を復興させるために、「豊かな国を取り戻すために技術教育で若者を育てる」といっても、実学主義、サスティナブル（持続可能）、実践主義、アイデンティティ（独自性）を中心に展開できる人材を育成することを使命としている。これまで、医療系の専門学校として、社会の変化に対応しながら、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、歯科技工士、歯科衛生士、臨床工学技士、医療秘書、医療事務、医療情報技術、柔道整復師、鍼灸師、はり師、きゅう師、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、ITエンジニアを育成することで、医療業界に貢献してきた。

今後は、医療系の専門学校として、社会の変化に対応するIT教育を強化する。

5氏によるパネルディスカッション

さらなるIoT化で生産性の向上を

なぜ世界先進国は、大阪、高槻の3社から学ぶのか。

世界の中で、医療は重要な産業である。

重要視しているのが、観光（インバウンド）である。医療は、約2千兆、帝国ホテル東京は8800年に建て直している。「IoS日本」（ものづくり）、「IoP日本」（人）、「IoT日本」（技術）、「IoH日本」（ホスピタリティ）、「IoA日本」（アート）、「IoL日本」（ライフ）、「IoE日本」（エネルギー）、「IoF日本」（食）、「IoC日本」（コンテンツ）、「IoD日本」（デザイン）、「IoB日本」（ビジネス）、「IoI日本」（インバウンド）、「IoT日本」（ツーリズム）、「IoM日本」（メディカル）、「IoW日本」（ウェルネス）、「IoS日本」（スポーツ）、「IoR日本」（リカレント）、「IoA日本」（アグリ）、「IoE日本」（エデュケーション）、「IoF日本」（ファイナンス）、「IoC日本」（コミュニティ）、「IoS日本」（セキュリティ